

(一社) 山梨県サッカー協会 4種委員会 議事録

第2回理事会

〈会議の名称〉

理事会

〈会議の日時〉

令和2年7月17日(火) 午後7時～10時30分

〈場所〉

(一社) 山梨県サッカー協会 2階 会議室

〈出席者〉

- ◇石原幸周委員長(甲府) ◇風間斉副委員長(峡東) ◇福田和久副委員長(峡北)
 ◆志村祐理事・会計(甲府) ◇鈴木和幸理事(甲府) ・広報部長
 ◆戸田昭人理事(峡中) ◇望月一徳理事(峡中) ◇廣瀬幸司理事(峡東)
 ◇野口徹理事(郡東) ・フットサル部長 ◇高根啓介理事(郡南)
 ◇中込和義理事(峡中) ◇三澤純理事(郡東) ◆近藤暁理事(郡南)
 ◇窪田圭司理事(峡北) ◇三科健二郎事業運営部長 ◇溝呂木勉審判部長
 ◇神取一弘技術委員長 ◆横森潔キッズ部長 ◇清水たけみ女子委員長

〈議事〉

司会：鈴木理事(甲府)

付議事項

1. 委員長挨拶

2. 報告事項

①専門部報告

- 事業運営部
 審判部
 技術部
 広報部
 キッズ部
 フットサル部

②その他

3. 協議事項

- (1) 2020年度評議委員会の中止について
 (2) 大会及びリーグ戦実施における新型コロナウイルス対策及び熱中症対策の感染防止策について
 (3) 2020年度山梨県U12リーグ戦について
 (4) nanahoCupについて
 (5) JA全農杯小学生選抜サッカー山梨県大会について
 (6) JFA全日本U-12サッカー選手権山梨県大会について
 (7) 内藤ハウスカップU-10サッカー大会について
 (8) 第1回山梨県U-12女子サッカー大会について
 (9) ニッサンサッカー教室について
 (10) その他

議事経過

1. 委員長挨拶

リーグおよび大会における新型コロナウイルス対策と熱中症対策の具体的な運用方法を決定し、8月中に各チームに伝達し、4種の大会などで新型コロナウイルスのクラスターを発生させない努力が必要。

新型コロナウイルス感染者が首都圏で増加している、県内でも散見され終息は見込めないなか、自己防衛に徹することが必要であり危機感をもってことに当たってほしい。

2. 報告事項

①専門部報告

事業運営部

審判部

更新講習の日程については調整中。新規講習会については8月より順次

技術部

県トレセンは9月27日から再開する。ただし、U12と女子のみ

キッズ部

フットサル部

広報部

②その他

3. 協議事項

(1) 2020年度評議委員会の中止について

今回は前期事業がすべて中止になり、また評議委員会に諮る議題もないことから評議委員会は開催せず、「4種委員会全体会議」として開催する。

期日 2020年8月29日(土)午後2時～(役員午後12時40分集合)

場所 甲府市総合市民会館

【今回の会議に限りの制約】

- ・役員と役員のないチームの代表者1名で行う。79名以下とする。
- ・地区ごとに参加者名簿を作成していただく。
名簿様式は後日確認後事前配布する。
- ・参加前に必ず検温してきていただく。
- ・議事を円滑に進めるために要綱などを8月20日までに配布する。
- ・質問などを前もって受け付ける。
- ・受付に消毒と非接触体温計を設置する。(非接触体温計は持っている理事が持参)

(2) 大会及びリーグ戦実施における新型コロナウイルス対策及び熱中症対策の感染防止策について

YFA4種大会においては、提案するガイドラインを元を実施する。

現段階では案となり、修正をしながら完全な形を目指す。

ただし、現段階で練習試合等が制約なく行われている場面もあるので、早い段階での配布を目指す。

もっとも大事にしたいことは、試合をする場面でチームからの対策を紙面等で形として確認を行い、会場責任者がやりやすい状況を作り出したい。

現資料の改善点としては下記があげられる。

- ・ 3 ページ 選手だけではなく保護者も含めて健康チェックを行っていただく
- ・ 4 ページ 熱中症アラート発生時の具体的な運用方法を明確にしたい。

熱中症アラートに関してはあくまでも予想なので実際には会場責任者が中止の決定を行う。運用マニュアルを作成し、マニュアルに沿って判断する。

- ・ 5 ページ チェック方法を明確にする。

基本的な考え方としては以下の通り

- ① 各家庭で選手・家族の健康を管理しチェックリストをチームに提出
 - ② チームは参加者一覧を作成する。またチーム活動チェックを行う。
参加者名簿を各チーム 2 週間程度保管する。
 - ③ 会場責任者はチームの活動チェックリストを取りまとめる。
ただし、参加者名簿など各自治体のガイドラインに沿ったものとする。
- ・ チームに一人『対策責任者』を任命していただく。
 - ・ チーム単位の遠征・県外チームとの交流の考え方を明記する。
4 種委員会としては制約を求めないが、なるべく自粛してもらいたい。
押原公園なども県の方針として県外との行き来を許可しているので、使用拒否などは出来ない。
いずれにしても 4 種の大会でクラスターと起こさないよう行動してもらう。

(3) 2020 年度山梨県 U12 リーグ戦について

■以下の実施内容で了承された。

- ・ 各地域の新型コロナ状況に対応するため、グループの再編を行う。
- ・ グループの解体を伴う再編を行う。（全カテゴリーで複数エントリーを可とする）
- ・ マッチデーは各カテゴリーとも設定しない。
- ・ グループチーム数を 6~7 チームとし、コンパクトなグループ構成を行う。
- ・ 各グループとも 9 月~翌年 1 月をリーグ期間とする。
- ・ 本年はリーグ日程を全て消化することを目的としない。
- ・ そのグループは移動等を考慮し、近隣地区での構成とする。
- ・ 出来るだけ短時間での開催を希望する。
- ・ 審判は試合当該チームが担当しても良い。
- ・ リーグ戦結果を直接来年度の組み合わせに反映させることはしない。
- ・ グループ研修は、マッチデーの設定ができないことや感染リスクを考慮し今年度は実施ができないので行わない。（保護者含む多くの参加が考えられるため）

※補助金の関係も含めて JFA リーグ実施報告書の再提出が必要「7 月末」期限

- ・ 試合時の審判ホイッスル使用について飛沫感染の懸念する意見があったが、審判委員会では現在特に問題なく、JFA でも触れていないことから審判後のホイッスルや手指の消毒等管理を徹底してはどうかとした。

【今後の準備としては】

- ・ 理事より各チームに参加チームの確認（近日中）
- ・ 地区ごとに参加チームを取りまとめ中込・鈴木に連絡（7 月 31 日まで）

- ・ 8月上旬に組み合わせを決定し各チームに連絡

(4) nanahoCup について

要綱からの修正点

- ・ 9月13日は熱中症アラートなどの心配もあるために、10月11日を予備日とする。
- ・ 郡東/郡南担当のグラウンドは初狩を予定
- ・ 甲府/峡東地区で2面、峡中/峡北で1面確保してもらう。
- ・ 複数エントリーは許可しない。
- ・ 大会登録人数は20名とするが、試合登録は16名とし、密を避けるためベンチ入りは交代8名の選手のみとする。
- ・ 交代ゾーンは設け、交代はピブスを使用せずに背番号でチェックする。用具と同時に4審によりチェックを行った後「自由な交代」を行う。
- ・ 組み合わせは8月29日の全体会議時に行う。
- ・ 峡東地区の責任者を風間氏より廣瀬氏に変更する。
- ・ 10月17日、18日に関しては押原公園の人工芝を使用する。
- ・ 提案した3位以下の順位決定戦は行わない。
- ・ 郡東/郡南地区にトーナメントの確認を行ったところ運動会などで参加出来ない場合もあるので、現状のベスト16へ2チームの組み合わせで問題ないとの了承済

(5) JA 全農杯小学生選抜サッカー山梨県大会について

要綱からの修正点

- ・ 関東大会は『東京』ではなく『群馬』（東京オリンピックの関係で）
- ・ 参加チーム24チームと25チームのレギュレーションで検討した。
- ・ 参加チーム確定については7月中とする。

(6) JFA 全日本U-12 サッカー選手権山梨県大会について

□JFA への報告について以下（7月末まで）

(1) 都道府県大会が中止となった場合の全国大会出場チームの選手方法について

※各都道府県大会が行われない場合も全国大会を実施することが前提となる

- ・ 8チーム程度に絞ったうえで試合を実施して決めることが良い
- ・ 既存の終了した大会結果を参考に山梨県推薦チームを決めてはどうか、nanahoCUP、チビリン2020年代表チームやベスト8など
- ・ 希望チームを募り試合を実施など

■JFA への報告について、ベスト8の参加可能チームによる決定戦を行う。但し決定戦ができない場合は抽選により決定する。（仮提案）

■（仮提案）通り実施するためにはnanahoCUP主催者・協賛社了解が必要となる。得られない場合は代案が必要となるため協議の上再度提案する。

JFA への報告について

(1) 都道府県大会が中止となった場合の全国大会出場チームの選出方法は？

(2) 大会組み合わせ

上記2点を7月末日までにJFA報告

予選が行われない場合の選出方法について下記案が上がった

- ・ ナナホの優勝チーム
- ・ ナナホのベスト8より抽選（シード等がないので不公平感あり）
- ・ 2019 チビリン予選の優勝チーム，もしくは準優勝チーム
- ・ 理事会の推薦

関東大会・北関東大会については開催の可否が8月末までに決定予定。

(7) 内藤ハウスカップU-10 サッカー大会について

2019年度と同様の大会を開催する。

(8) 第1回山梨県U-12女子サッカー大会について

■ 期日：12月12日（土）

■ 場所：押原公園人工芝G

■ 参加チームは8～10チームを予定

- ・ 各地区内の合同チームによる参加を促し、参加可否を8月までに報告する。
- ・ 甲府地区は1チームの参加予定
- ・ 対象は4年生以上だが、個人差もあるため3年生以下でも可とする。
- ・ 峡東地区ではエスペランサと峡東地区内女子による合同チーム結成も検討する。
- ・ 女子選手の試合機会を通じて普及を図る目的なので柔軟にチームを編成し参加盛り上げてほしい。
- ・ ビブスは大会本部で用意する予定だったが、コロナ対応により各チームで持参するように変更する。

(9) ニッサンサッカー教室について

開催中止の決定

(10) その他

■ ヴァンフォーレ甲府ホームゲーム出労について（別紙 石原委員長）

- ・ メール配布しているので確認して参加してほしい。

・ 第3回理事会(8月21日(金))の開催について

翌週に全体会議があることから8月21日については理事会を行いません。

ただし、新型コロナウイルスの感染拡大など予期せぬ状況となった場合には開催する場合があります。

■ 2020年度予算について（石原委員長）

- ・ 4種委員会運営費について今後の事業実施状況を見ながら一部をチームに返納することも検討していきたい。

■年間確保した会場の使用について下記はリーグスケジュールに入ります。

- ①9月12日(土)小瀬補助、②10月10日(土)農村公園、
③10月11日(日)(nanahoCUP予備日)小瀬補助、④11月22日小瀬補助
⑤12月20日(日)小瀬補助 ⑥1月17日(日)小瀬補助 ⑦2月20日(土)小瀬補助

議事録作成 令和2年7月22日
署名 中込 和義
広報部確認